

七月度

定例役員会から

月一回の定例役員会は、七月六日午後七時から集会所において開かれました。

議題は、先にお配りしたチラシの「路上駐車の警察の手入れ」の対応策が中心となり、活発な議論が展開されました。

池田警察と直接折衝に当られた会長、副会長から状況の説明があり、急を告げられた事態に、役員一同真剣に立向い、さまざまな意見が表されましたが、これという早急な決め手はなく、大きな問題に対し自治会として会員の建設的提案を待ちながら、駐車場確保を継続的におし進めることで意見の一致をみました。

続いて各専門部から活動報告がなされ、九時四十五分つきまない時間を惜みながら閉会しました。

● 体育部

テニス同好会の強い要望により、市・箕面高校にコートの開放を陳情しました。残念ながら許可されませんが、近々の関西電力コートが月曜日だけふさわしい団体に借す情報入手。目下努力中です。

● 交通安全対策部

先日チラシにて、団地内の駐車をめぐる問題の今日迄の経緯と実情について説明し、同時に池田警察よりの路上駐車全面取締りの通告、安全運転の励行と迷惑駐車の一掃を訴え、皆様方の協力をお願いしてまいりましたが、重ねて車を利用されている方のご理解とご協力をお願いする次第です。

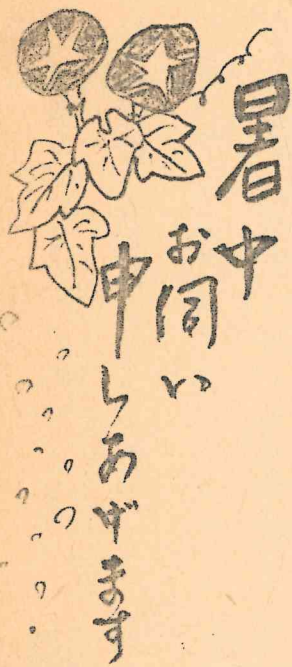
● 車業共済部

真実、多数の人々に益する物品の購買斡旋は、業者の選定が大変むずかしく、ともすれば独断し勝ちで後でお叱りを受けます。この件に関する皆様からの情報提供を切望いたします。

● 婦人部

先日アンケートをもとに、お土産れば全員参加を目的として次の年間計画を立てました。ふるってご参加を。

- ◇アートフラワー 七月
- ◇不用品交換会 九月と明年一月
- ◇手作り作品交換会 二月
- ◇料理教室 十二月
- ◇着付教室 十月と三月



会員皆様の声が役員会の論点となります。お礼がるに「ご意見、見、ご要望を」



「私達の町にもお盆を呼ぼう」の願いが実現

した校正自治会共催の 盆踊り大会は、

いよいよ八月六日、七日(両日)にわたって行わ

れます。その為の練習を八月に入り三日間位

行ないます。(日時)は追つてお知らせします

昨年は夜店を招きました。やたらお金が

いるとの苦情もあり、本来のあるべき姿を考

え、本年は呼ばないつもりです。

意図とおくみ取りの上、願わくば全員のご

来場、ご参加をお待ち申し上げております。

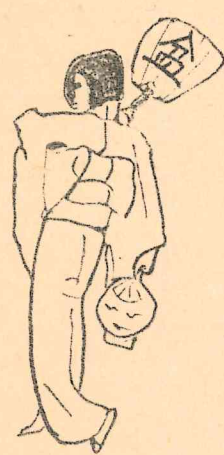
又、会場附近にお住まいの皆様、子供達の

胸に残る団地の思い出をよきものにせしめ

んが故、何卒一時の賑々しさをご容赦下さい。

# 第3回 盆踊り大会

於豊川北小学校  
8月6日7日



え、う、来、場

## 投稿

### 願わくば騒々しく ない町に

何処の団地でも過密世帯であるが故、出し  
出される騒音が、少なからず問題となってい  
る様です。

「最低のコストで最高の人間收容」だけを  
目的とした日本の集合住宅に、何らの防音性  
を期待出来ません。

そこに、車・クーラー、ステレオ、ピアノ、  
エレクトーン等の音量の高い品物が詰め込ま  
れ、一方でプライバシーの尊重が叫ばれて  
います。この大きな矛盾については犯罪を起  
さしめました。

騒音は軽減されなければなりません。  
もし、私達がこの問題に対し我関せずの態度  
をとりに続けるなら、やがてはこの町も住みに  
くい場所に変貌してゆくでしょう。

複雑を極める現代社会に在りて、せめて家  
に居るとも位い、充分なくつろぎと、願う  
のは万人共通であり、ましては私達は、高い  
代償と引換えに、誰かをも侵されぬ自由と、  
労といやすに足る憩の場を買ったつもりであ  
り、奇しくもこんなところに落ち穴があつて  
はいけません。

気の向くまま、存ずがままの自由風潮は、  
やはりどこかで一線を引かないと、集団生活  
は成り立たないもの、様です。

騒音といえ、良く業者の宣伝音だけが厳  
しく指摘されますが利用者を受ければ、業者

から遠ざかるのが道理であり、他に求めるこ  
とも確かに必要ですが、自ラに自ラに反省も  
あつてしめるべきではないでしょうか。

「事案、私達のところも最近、「犬の吠え声、  
時間度外視の車のクラクション、ひびき渡る  
ピアノの音、所がまわすの子供の罵声、意を  
つく花火のさく銃音」等が耳をつきます。

それらが皆、騒音とはきめつけられません  
が、仮りに、騒音の定義を「少数の人によつ  
て引き起され、多数の人が迷惑と感ずる音」  
とするなら、それらの大部分は、騒音と言わ  
ざるを得ません。

騒音の解決には、この程度の致筋住宅では  
内外に音を拡大する作用を持つ事は、つまり  
認識し、その上でのちよつとした注意、工夫、  
改良が不可欠です。そうすれば音は、やわらご  
ぬく人の心を否定から寛容へと転じさせるの  
ではないでしょうか。

この種の苦情は、「他人の身にもなる」の  
一点で大方、解決がつかうです。

自由でありながら節度が保たれる、卑屈と  
感せずおごりもしない、私達の自然環境にめ  
ぐまれたこの団地が、この様な姿を呈してゆ  
くのを切望して止まません。

最後に、この一私見が、何の中傷、押しつ  
けの意図を持たない事を弁明させて頂き、会  
員諸兄のご健勝と、お祈り申し上げます。(N)

要望により現存する或は計画中の趣味  
同好会をこのニュースで紹介したいのですが  
実体がつかえません。リーダーの方ご一報  
下さい。  
広報部